

平成24年度
平成23年度実施

事務事業評価調書

整理番号 2 - 18
作成年月日 H24. 7. 23
事業区分 ☒ 継続 ☐ 新規

事務事業名 興部町高齢者下宿運営管理事業

事業開始年度 平成20年度 住民参加 ☐ 有 関係例規・法令名
事業終了年度 平成24年度 住民協働 ☒ 無 関係個別計画名 興部町高齢者福祉計画

会計区分 一般会計 款 3. 民生費 項 1. 社会福祉費 目 2. 老人福祉費

担当課 福祉保健課 担当係名 高齢者福祉係 調書作成者職氏名 係長 山田隆敏

【第五期興部町総合計画】 ☒ 登載事業 ☐ 非登載事業 実施計画登載No 96

分類	コード	名称
基本目標	3	生涯を支える“まちづくり”
施策項目	17	高齢者福祉の推進
単位施策	1	健康と生きがい対策の推進

I. 事業計画

(1) 対象	【事業の相手】 ※ 何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのか具体的に記載して下さい。 ひとり暮らしのため独立して生活することに不安な60歳以上の高齢者。 入居者数 6名 (H. 24. 7. 1)
(2) 手段	【事業の概要】 ※ 目指すべき姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載して下さい。 公募により、審査判定会議を経て入居の可否を決定する。
(3) 目指す姿	【事業の成果】 ※ 事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載して下さい。 個室と食事の提供、見守りを受けて、元気に自立した生活をする。

II. 指標【成果を判断する目標数値】

No	種別	内 容	区分	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
1	対象指標		目標値 実績値	人					
2	活動指標		目標値 実績値	回					
3	成果指標		目標値 実績値	千円					
4			目標値 実績値						

III. 事業費の推移 (単位：千円)

区分	19年度 決算	20年度 決算	21年度 決算	22年度 決算	23年度 決算	24年度 予算	20～24年度 合計
事業費(千円)		9,475	7,864	9,407	8,984	10,178	45,908
財源内訳							
国庫支出金							0
道支出金		342					342
地方債							0
その他		4,574	3,995	3,104	2,329	3,000	17,002
一般財源		4,559	3,869	6,303	6,655	7,178	28,564

IV. 担当課による事務事業の評価

区 分	チェック項目の説明（内容）等
1. 実施の妥当性 (1) 町の政策的な事業である。 ☒ (2) 公共性が高い事業である。 ☐ (3) 緊急性が高い事業である。 ☐ (4) 法令等により実施が義務付けられている。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	自炊が困難になった方々が住みなれた地域でくらすよう老人福祉寮としてＳ５１年度、５９年度で２棟設置し、その後も必要性があったため、Ｈ１５年度に改修して、高齢者下宿と名称を変更しＨ１６年度から運営している。
2. 経済性・効率性 (1) 費用に見合う効果がある。 ☐ (2) コスト削減の余地がある。 ☐ (3) 受益者負担の余地がある。 ☐ (4) 補助制度等活用の可能性がある。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☒	管理人を維持するため、Ｈ２２年度より日中と夜間の２人体制にしたが、入居者は減ってきており、希望者もない。
3. 必要性 (1) 町民のニーズがある。（高い） ☐ (2) 事業を継続する必要がある。 ☒ (3) 類似事業との統合・再編の可能性がある。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☐	入居者がいる限り必要と考える。しかし、介護保険制度が充実して、買い物にいけない人なども自宅での生活が可能となったせいか入居者は減ってきている。
4. 代替性 (1) 行政主体による実施が適当である。 ☐ (2) 民間委託等による実施が可能である。 ☐ (3) 住民協働（主体）による実施が可能である。 ☐ (4) その他 【具体的に記載】 ☒	管理人や代替さんがなかなか見つからず心配した時期もあった。立地状況や管理上、委託は難しいし、受ける人もいないと考える。
5. 事業の達成度 (1) 期待どおりの成果があがっている。 ☐ (2) 概ね期待どおりの成果があがっている。 ☒ (3) 成果が不十分である。 ☐ (4) 事業の見直し等が必要である。 ☐ (5) その他 【具体的に記載】 ☐	介護の必要はないが、病弱で見守りが必要な高齢者が食事の提供を受けて安心して日常生活を送っている。

※H21年度から集中管理の光熱水費、通信運搬費は除いています。

V. 一 次 評 価（所管課）、二 次 評 価（庁内評価委員会）

区 分	評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性
一 次 評 価	継 続 【現状維持】	本施設での居住を必要としている方々がいる限り、現状を維持していきたい。従事者の関係から平成22年度より、日中と夜間に分けて管理人体制を変更した。
二 次 評 価		二次評価対象外

VI. 外部意見（興部町総合計画策定審議会）

--	--

VII. 総合評価（町長、副町長、教育長）

最 終 評 価	評 価 選 択 理 由 / 今 後 の 方 向 性

☆ 評 価

- (1) 継 続 **【現状維持】** ⇒ 事業内容、事業量に大きな変動がなく、予算増減が少ないもの
 (2) 継 続 **【拡 充】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算増を伴うもの
 (3) 継 続 **【縮 小】** ⇒ 事業内容、事業量に相当程度の変動があり、予算減を伴うもの
 (4) 継 続 **【統 合】** ⇒ 事業内容の類似する事業に統合し、この事業を廃止するもの

- (5) 終 了 ⇒ 単年度事業、期間満了による事業の終了
 (6) 休 止 ⇒ 隔年度での事業実施などによる事業の休止
 (7) 廃 止 ⇒ この事業を廃止するもの